



青少年赤十字経験者追跡調査 報告書

調査目的

青少年赤十字は、「赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できる人材の育成」に寄与しているか

2011年 4月



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

1. 調査方法

「青少年赤十字(JRC)経験者」の意識と実態を把握し、当該事業の有効性を確認するための情報を得ることを目的として、以下の調査を実施。

(調査実施期間:2010年12月～2011年4月)

STEP1 : JRC経験者および非経験者についての意識調査

【手法】ネット調査(回収数:953ss、地域:全国)

<未経験者についても調査することで、経験者との意識の違いを確認>

【対象】一般ネットモニターから抽出したJRC経験者および非経験者

STEP2 : JRC経験(高関与)者に対する郵送調査

【手法】郵送調査(回収数:488ss、地域:全国)

<JRCに深く関わった人について、分析に耐えるサンプル数を回収>

【対象】トレーニングセンター過去参加者およびJRCOB且つ支部とつながりのある人

STEP3 : JRC積極経験者に対するインタビュー調査

【手法】デプスインタビュー(回収数:5ss、地域:関東・四国・九州)

<JRCに積極的に関与した様々な人(性別、年代、職業などが異なる人)にインタビュー>

【対象】STEP2の郵送調査協力者(高関与層)

- ・20代男性、香川県在住、大学4年生(青年赤十字奉仕団員)
- ・40代女性、香川県在住、民間団体理事
- ・60代男性、福岡県在住、広告代理店・人材派遣会社経営

- ・30代女性、福岡県在住、看護師(日本赤十字病院勤務)
- ・40代男性、神奈川県在住、高校教師(JRC指導者)

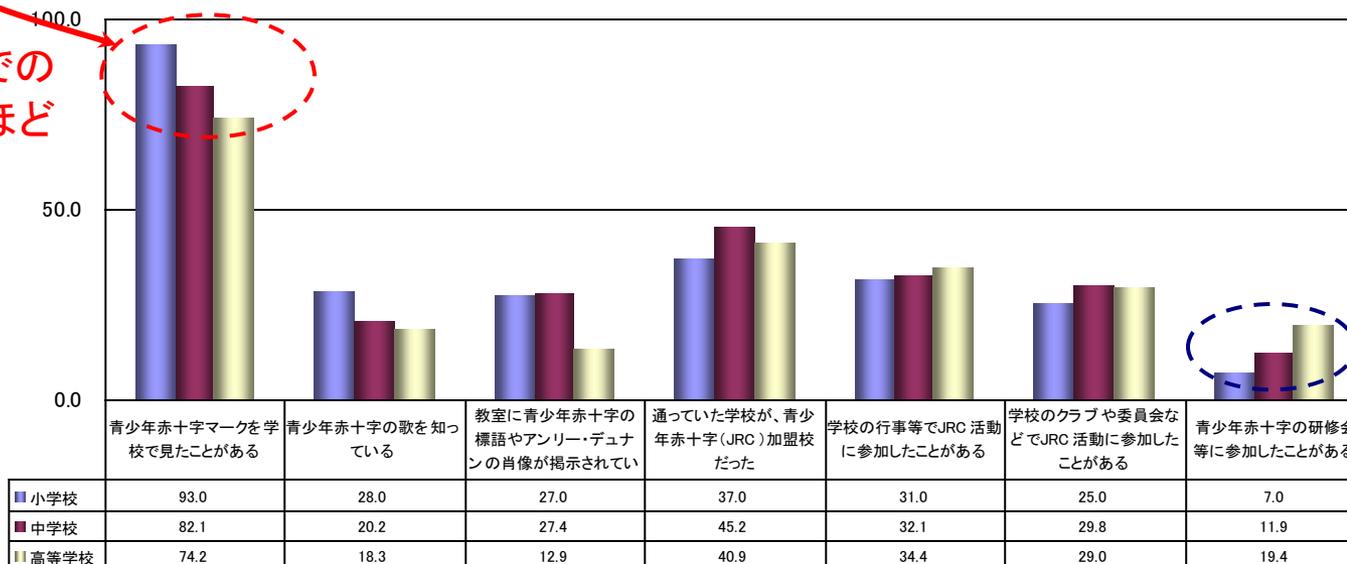
2. JRC経験のタイミング

一般のJRC経験として最も多いのは『学校でJRCのマークを見た』で、81%
トレーニングセンター等『研修会等に参加した』ことのある高関与者は12%

- 青少年赤十字のマークを学校で見た ... 81%
- 青少年赤十字の歌を知っている ... 20%
- 教室に標語やアンリー・デュナンの肖像が掲示されていた ... 19%
- 通っていた学校が加盟校だった ... 31%
- 学校行事等でJRC活動に参加した ... 26%
- 学校のクラブや委員会でJRC活動に参加した ... 23%
- JRCの研修会等に参加したことがある ... 12%

■ 小学校 ■ 中学校 ■ 高等学校

小学校での
経験者ほど
多い



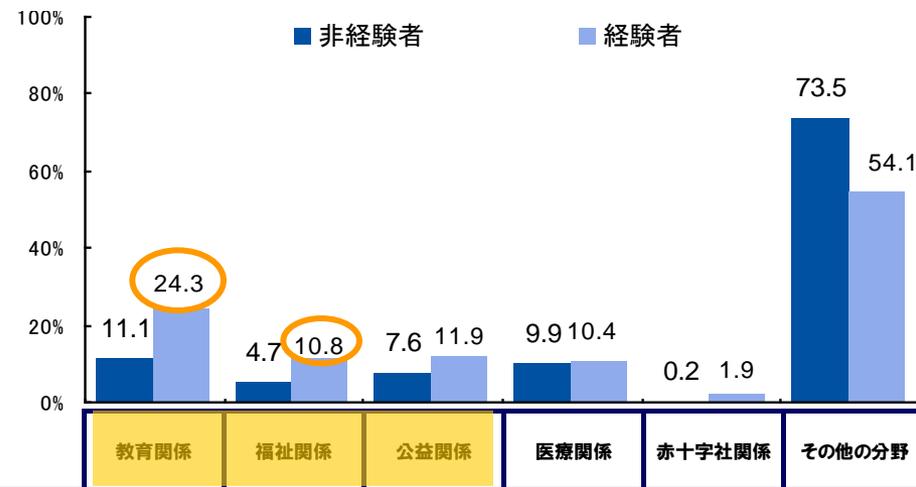
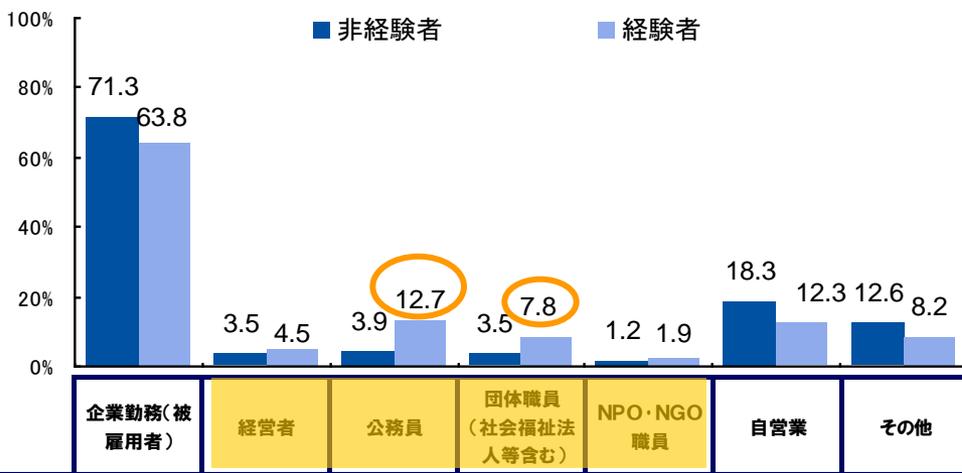
高校での
経験者ほど
多い

3. JRC経験者と非経験者の職業選択の違い

JRC経験者は一般よりも**公的な職業**に就く率が高く、**教育関係や福祉関係**を選ぶ傾向が強い。

職業(経験含む)

分野(経験含む)

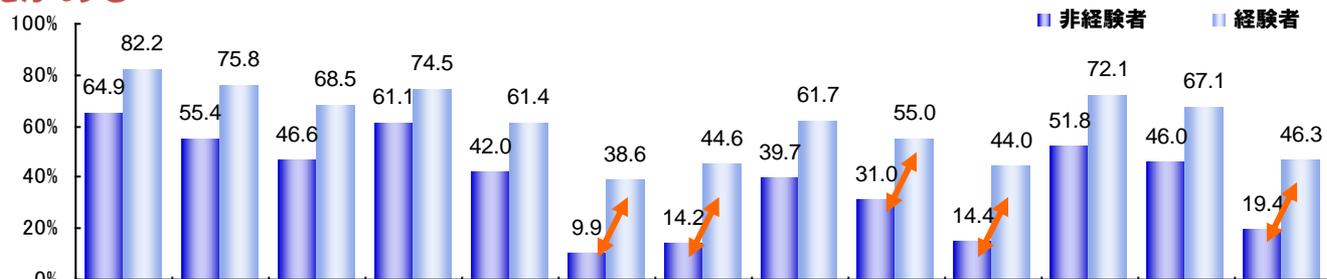


4. JRC経験者(一般)と非経験者の意識の違い

JRC経験者は、非経験者に比べて行動・意識ともに積極的。

JRC経験有無で差が大きい項目・・・

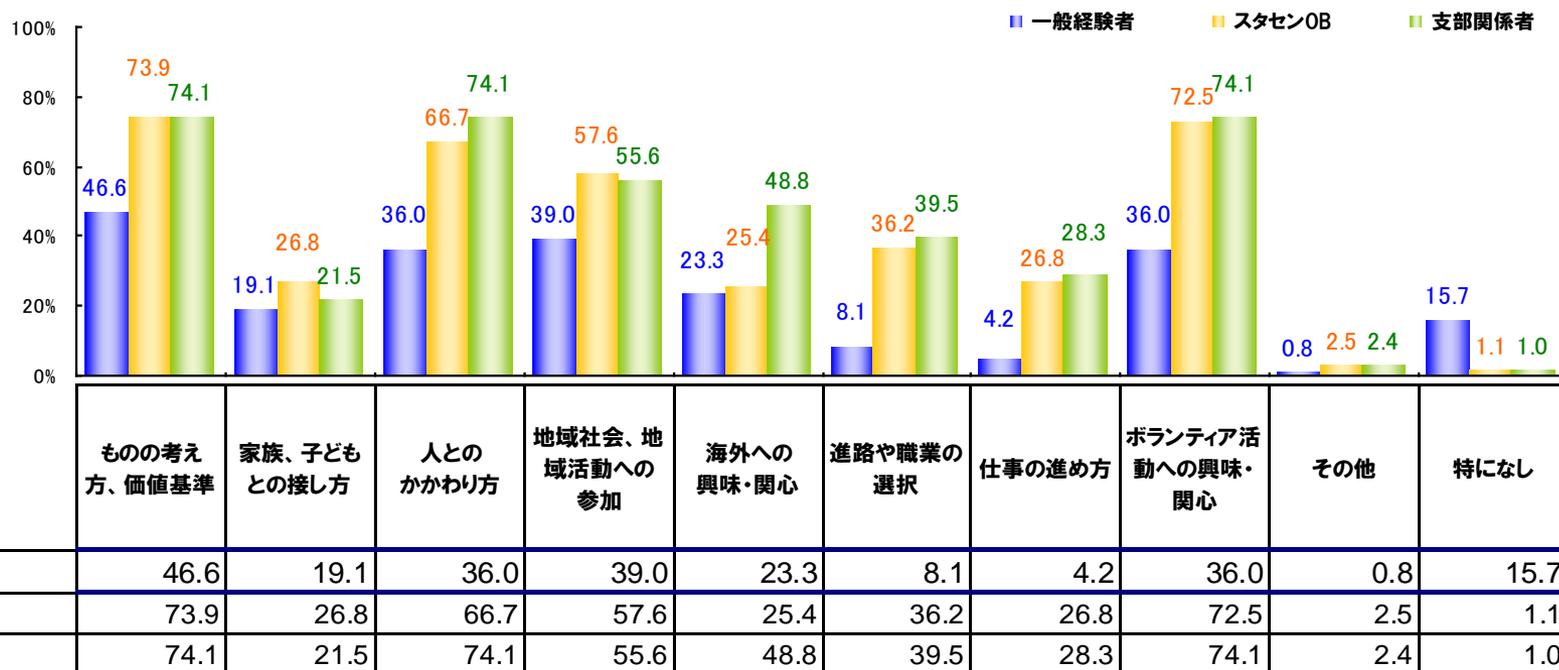
- ・ボランティア参加が積極的である
- ・寄付や募金への協力が積極的である
- ・周囲の人から頼りにされることが多い
- ・地域活動への関わりが積極的である
- ・災害に対する備えがある



		仕事面や生活面において、先々のことを考えながら行動している	困っている人を見るとき、声をかけたり手助けをしている	周囲のために行動することは、自分にとって大きな喜びだ	世界の出来事やニュースに対して関心が高い	物事に主体的に取り組んでいる	ボランティア活動に積極的に参加している	寄付や募金に積極的に協力している	常に自己の向上につとめている	周囲の人から頼りにされることが多い	地域の活動に積極的に関わっている	自分と違う意見に対しても理解を示すことができる	相手の地位や立場によって態度を変えない	災害に対する備えをしている
全体	(953)	70.3	61.8	53.4	65.3	48.1	18.9	23.7	46.6	38.5	23.6	58.1	52.6	27.8
JRC経験別	非経験者 (655)	64.9	55.4	46.6	61.1	42.0	9.9	14.2	39.7	31.0	14.4	51.8	46.0	19.4
	経験者 (298)	82.2	75.8	68.5	74.5	61.4	38.6	44.6	61.7	55.0	44.0	72.1	67.1	46.3
経験×年代	非経験者20代 (136)	57.4	55.1	48.5	49.3	39.7	8.8	13.2	47.8	30.9	11.8	54.4	43.4	13.2
	非経験者30代 (159)	70.4	57.9	46.5	62.9	33.3	7.5	14.5	38.4	28.3	13.8	45.3	36.5	22.0
	非経験者40代 (168)	63.7	57.7	46.4	60.1	47.6	11.3	14.3	39.9	32.7	11.9	48.8	46.4	22.6
	非経験者50代以上 (192)	66.7	51.6	45.3	68.8	45.8	11.5	14.6	34.9	31.8	18.8	57.8	55.2	18.8
	経験者(一般)20代 (101)	87.1	77.2	76.2	73.3	57.4	40.6	52.5	69.3	58.4	44.6	79.2	67.3	44.6
	経験者(一般)30代 (38)	76.3	73.7	63.2	68.4	68.4	36.8	34.2	68.4	63.2	26.3	55.3	63.2	47.4
	経験者(一般)40代 (81)	79.0	71.6	60.5	74.1	59.3	35.8	39.5	60.5	49.4	50.6	74.1	70.4	48.1
	経験者(一般)50代以上 (78)	82.1	79.5	69.2	79.5	65.4	39.7	44.9	50.0	52.6	44.9	69.2	65.4	46.2

5. JRC経験程度による活動から受けた影響

JRC活動は「ものの考え方、価値基準」に強い影響を与えている。
 また、「地域社会・地域活動への参加」「人とのかかわり方」「ボランティアへの興味・関心」などについても影響を与えるようである。
 スタディセンターOBや支部関係者は、一般経験者より影響を受けたと感じる人が多く、関与が高いほど受ける影響も強い。



6. JRC積極経験者5名の体験

気軽に入部した

- ・兼部可能な楽な部活、というイメージで入部し、次第に本気に。

世界が広がった

- ・学生時代に、大人(日赤職員・大学生・社会人ボランティア)と関わることで社会とのつながりを意識するようになった。
- ・他校や施設との交流で、自分の考えの狭さを知った。

自分に自信がもてた

- ・救急法の講習を受けて、自分でも人を助けることができそうだと思えた。
- ・ボランティアの中で、自分が他人に対して影響を与えることができることを知り、嬉しかった。

性格が積極的になった

- ・引っ込み思案だった自分が、初対面の人とも話せるようになった。
- ・恥ずかしがり屋だったのに、いつの間にかリーダーに。

コミュニケーション力が
ついた

- ・交流や交渉が発生する活動の中で、仲間とのコミュニケーション、対外的なコミュニケーション力を育てることができた。
- ・トレセン参加でディスカッションのやり方を学び、生徒会で役立った。

気づき、考え、行動
できるようになった

- ・JRCの活動の中で、やりたいことを見つけ、企画し、実行することを学んだ。顧問の先生のサポートを受けながら自由に活動できた。
- ・トレセンでの研修からも大きく影響を受けた。

ボランティアの本質を
知った

- ・赤十字の考え(7原則)を知ることによって、ボランティアに対してゆるぎない考えを持つことができた。

一般から見える活動に
なってほしい

- ・大人になった今、JRCのことを聞く機会がない。
- ・子供の学校が活発でなく残念。

7. 活動に参加してよかったこと

◆ JRCの活動に参加してよかったことは「人の役に立てた」。

「色々な人と交流できた」「活動してお礼を言われた」など、若い世代において貴重な経験となっている。

スタディセンターOBや支部関係者は「救急法を学ぶことができた／救急法が役に立った」や「活動が職業選択につながった」など、より具体的な事柄を挙げた。

◆ 一般JRC経験者のうち、8割がJRC活動を有益と考えている。

理由は「人のつながりを持つことは大事／色々な人と出会うことができる」。

◆ JRC経験者は、非経験者よりも意識が高い。

「仕事面や生活面において、先々のことを考えながら行動している」「困っている人を見たとき、声をかけたり手助けをしている」「世界の出来事やニュースに対して関心が高い」など、総じてJRC経験者の方が選択率が高く、周囲や社会に目を向ける傾向が強い。

◆ JRCへの要望は「もっとJRC活動を世間に広めて欲しい」。

JRC経験の有無に関わらず多く挙げたが、特に経験者は卒業後にJRCについて耳にすることがなくなったことを残念に感じている。

8. 青少年赤十字(JRC)で育つ人物像

青少年赤十字(JRC)の活動は、**社会性があり、自己承認でき、コミュニケーション能力に優れた国民を育てる**。さらに、深く関与することで**リーダーシップも育つ**。

